

	審議 件数	可決 採択	否決・ 不採択	継 続
議案	10	0	0	0
議決 意見書・決議	6 4	10 3	0 1	2 0

主な
内容

2・3面……一般質問
4面……請願、陳情、意見書・決議

みたか 議会だより

発行・三鷹市議会 0422(44)0249
〒181-8555 三鷹市野崎一丁目1番1号
http://www.gikai.city.mitaka.tokyo.jp

第236号

平成14年7月28日

市立学校設置条例の改正を可決 市立幼稚園3園は順次廃止に



水遊びをする子どもたち

市立この幼稚園

三鷹市議会は、平成14年第2回定例会を6月10日から28日までの19日間わたって開催した。この定例会は、初日、2日目の16人の議員による市政に関する一般質問ののち、議案10件、意見書・決議3件を可決し、会期を終えた。

本定例会では市長提出議案として、市立幼稚園3園を順次廃止することした。三鷹市立学校設置条例の一部を改正する条例の提案があり、賛成多数で可決された。

また、これに関連して、三鷹市立幼稚園全園の方針の撤回を求めることについてとする請願については、賛成少数で不採択となった。

さらに、本定例会では、議員提出議案として、「アメリカ合衆国の未臨検査実施に対処する抗議決議」と意見書2件が可決され、関係機関へ送付された。

今定例会で、市長から三鷹市立幼稚園3園を順次廃止する条例の提案があり、文教委はこれを可決し、28日の本会議で賛成多数により可決された。

【議案の内容】
現在3園ある市立幼稚園を、大

沢第一幼稚園については平成16年度、第二幼稚園については平成17年度、第三幼稚園については平成18年度末をもってそれぞれ廃止するものである。

【提案の理由】
この議案が市長から提案された

理由は、次のとおりである。
本市の幼稚園は、昭和30年から40年にかけての人口急増時に、私立幼稚園の設置が追いつかず、これを補充することを目的として設置をしたという経緯がある。これ

まで、平成9年度末をもってひがし幼稚園を、10年度末をもってひがし幼稚園を廃止してきた。ところが、近年、さらに少子化が進み、私立幼稚園では欠員が生じているという状況がある。一方で、保育園では、女性の就業の向上等により需要を中心に待機児童が増加しているという現状にある。こうした状況から市立幼稚園を廃止することし、その施設跡地については、その待機児童の解消を含め、保育園など幅広い子育て支援施設と転用を図っていくことである。

【議案の対応】
市議会は、17日の本会議でこの議案を文教委に付託し、文教委で慎重に審査することとした。文教委では、18日から20日までの3日間わたって精力的に審査が行われた。審査の中で、委員の中からは市側に、次ような質疑があった。

市立幼稚園の役割と幼児教育のあり方について、幼稚園の適正配置に対する考え方について、就学前人口の地域的な動向を

求す期について、園圃順序及び時期に対する考え方について、幼稚園を廃止することによる影響について、保護者等の廃園に関する説明と園圃手続の妥当性について、地域の文化的な実質的な受け皿の担い手について、幼保一元化に向けた取り組みと廃園後の施設活用について、保育料等、費用負担の公私間格差の実態について、幼稚園保護者助成の拡充と施設整備等への支援について、私立幼稚園協会の協働体制について

また、文教委では審査参考とすため、「三鷹市立幼稚園廃止方針」などの資料を市側に求めた。また、市内の幼稚園（市立の園、私立3園）を廃止し、その実態の把握に努めると、慎重に審査が行われた。20日、委員会でこの議案の採決について請願の採決が行われ、賛成多数により不採択となった。また、最終日28日の本会議でも、委員会の結論と同じく賛成多数により不採択となった。

○田中甲子（政新クラブ）
○嶋崎 英治（民主市民連合）
○嶋崎 秀男（公明党）
○徳水 弘行（クループ21）
○大竹 和男（無所属の会）
○金井 富雄（政新クラブ）
○岩田 康男（日本共産党）

大沢第二グラウンド整備工事 市営大沢住宅建替工事 契約議案を可決

6月定例会は、市長から大沢第二グラウンド整備工事請願契約議案の提案があり、いずれも同日の本会議で満場一致により可決された。

△大沢第二グラウンド整備工事請願契約の締結について
現在、市営住宅は大沢・新川の2箇所が設置されているが、これらは昭和33年度から35年にかけて建設されたものであり、老朽化が著しく進んでいる。そこで、この両住宅を撤去することを前提として、大沢住宅の建替を行うものである。

△大沢第二グラウンド整備工事請願契約の締結について
建設工事を行うものである。現在、市営住宅は大沢・新川の2箇所が設置されているが、これらは昭和33年度から35年にかけて建設されたものであり、老朽化が著しく進んでいる。そこで、この両住宅を撤去することを前提として、大沢住宅の建替を行うものである。

△建設費は床面積3,000・70平方メートルを超過するが、建物内外の段差の解消、玄関等に引き戸を採りするなど、全戸バリアフリーに対応した住戸を63戸設置する。また、地域開放型の集会所を併設し、その階層部分を災害時の一時避難用宿泊施設として利用するほか、附帯施設として、駐車場、駐輪場、公園緑地、屋上緑地等を設置するものである。

△契約の金額は10億3,300万円、相手方は、大創建設共同企業体である。また、工期は、契約締結日の翌日から平成16年2月25日までである。

固定資産評価審査委員の選任に同意

今定例会最終日の6月28日、市長から追加議案として、「固定資産評価審査委員の選任について」とする人事議案3件の提案があり、いずれも満場一致で同意された。

石井 徳男氏（再任）
高井 重子氏（新任）
上田 定氏（新任）

△三鷹市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正（地方自治法の改正に伴い、規定を整備）
△三鷹市消防団員等公務災害補償条例の一部改正（関係法律の廃止に伴って規定を整備）
△三鷹市消防団員に関する退職給付金支給に関する条例の一部改正（退職給付金の支給額を引き上げ）
△三鷹市立自動車庫の放火防止に関する条例の一部改正（第二期三鷹産業クラス（仮称）建設工事施行による三鷹駅中央駐輪場の部分廃止に伴い、同駐輪場の位置の表示を変更）

表 彰

去る5月28日、全市市議会会長から、次の議員が表彰された。
【議員在職15年以上表彰】
吉田 武 徳水 弘行

【議案の対応】
市議会は、17日の本会議でこの議案を文教委に付託し、文教委で慎重に審査することとした。文教委では、18日から20日までの3日間わたって精力的に審査が行われた。審査の中で、委員の中からは市側に、次ような質疑があった。

市立幼稚園の役割と幼児教育のあり方について、幼稚園の適正配置に対する考え方について、就学前人口の地域的な動向を求す期について、園圃順序及び時期に対する考え方について、幼稚園を廃止することによる影響について、保護者等の廃園に関する説明と園圃手続の妥当性について、地域の文化的な実質的な受け皿の担い手について、幼保一元化に向けた取り組みと廃園後の施設活用について、保育料等、費用負担の公私間格差の実態について、幼稚園保護者助成の拡充と施設整備等への支援について、私立幼稚園協会の協働体制について

△建設費は床面積3,000・70平方メートルを超過するが、建物内外の段差の解消、玄関等に引き戸を採りするなど、全戸バリアフリーに対応した住戸を63戸設置する。また、地域開放型の集会所を併設し、その階層部分を災害時の一時避難用宿泊施設として利用するほか、附帯施設として、駐車場、駐輪場、公園緑地、屋上緑地等を設置するものである。

△契約の金額は10億3,300万円、相手方は、大創建設共同企業体である。また、工期は、契約締結日の翌日から平成16年2月25日までである。